

2020年10月1日

皮膚科に通院中、または過去に通院・入院された患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありませんし、患者さんが識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止します。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] ヒト皮膚の炎症と恒常性の制御機構の解明

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 香川大学医学部 皮膚科学 教授 大日輝記
(この研究は、香川大学を主幹機関とする多施設共同研究として行います。)

[研究の目的]

アトピー性皮膚炎、乾癬、ざ瘡、円形脱毛症など、さまざまな炎症性皮膚疾患の違いがなぜおこるのかを明らかにすることで、より良い検査法や治療法の開発に役立てます。

[研究の方法]

対象となる患者さん

2010年4月1日から2025年3月31日の間に、本院および共同研究施設の皮膚科を受診し、アトピー性皮膚炎、乾癬、ざ瘡、円形脱毛症などの炎症性皮膚疾患と診断された方、皮膚免疫の関与が示唆される増殖性疾患を有する方が対象です。また比較のため炎症性皮膚疾患に該当しない方も対象とします。

利用する検体・診療情報

検体：血液、組織、角質、毛、皮膚表在菌(検査などで採取された方)

診療情報：性別、年齢、身長、体重、病歴、治療内容、血液検査、臨床画像、組織検査

[外部への検体・診療情報の提供]

(利用する本学所持の検体・診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、郵送で、下記の研究組織へ提供します。)

[外部からの検体・診療情報の提供]

(利用する外部施設所持の検体・診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、郵送で、下記の研究組織より本学へ提供されます。)

[研究組織]

香川大学医学部 皮膚科学 教授 大日輝記

京都大学大学院 医学研究科 皮膚科学 教授 梶島健治

[研究代表者]

香川大学医学部 皮膚科学 教授 大日輝記

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院皮膚科 担当医師 大日輝記

電話 087-891-2269 FAX 087-891-2163